

追悼；藤本和貴夫先生

去る 4 月 22 日、藤本和貴夫先生（大阪大学名誉教授）が滋賀県大津市内の病院で逝去されました。享年 86 歳でした。

藤本先生は、1938 年 9 月京都市に生まれ、大阪外国語大学ロシア語科を卒業後、東京大学大学院社会学研究科に進み、1973 年大阪大学教養部講師に着任。専門はロシア史で、1976 年から大阪大学言語文化部助教授、教授として研究・教育活動に邁進し、多くの後進を育てられました。2002 年に大阪大学を退任されてからは大阪経済法科大学に移り、2005 年から 12 年間学長を務められました。

藤本先生は、1980 年代半ばから「日本・ロシア極東学術交流シンポジウム」を 30 年以上の長きにわたって続け、ロシア・東欧学会の副代表理事を務めるなど、学者・研究者の学術交流活動の組織者として、手腕を発揮されました。同時に、大阪日本ロシア協会理事長、日本・ウラジオストク協会会長、シベリア抑留者支援・記録センター研究委員として、日本とロシアを結ぶ幅広い社会活動に取り組まれました。

JIC 国際親善交流センターとしても、モスクワと東京で交互に行った「ペレストロイカ・セミナー」（1987 年～91 年）をはじめとして、藤本先生には日ロ交流活動でいつもアドバイスをいただき、大変お世話になりました。

謹んで藤本和貴夫先生のご冥福をお祈りいたします。



藤本和貴夫先生のご逝去を悼む

学者にしてまれな組織者 日ロ交流の拡大に尽くす

藤本和貴夫先生と初めてお会いしたのはもう 40 年も前のことだ。確か 1985 年の 5 月か 6 月頃だったと思う。大阪・梅田の喫茶店で待ち合わせて、「ナホトカ青年の船～洋上大学」の講師をお願いした。折しも、同年 3 月にゴルバチョフ・ソ連共産党書記長が登場し、ソ連社会が大きな変化を始めた時期だった。敦賀からナホトカに向かう船の上で、ソ連ゴルバチョフ政権の登場と日ソ関係について講演をしていただいたと記憶している。

JIC 国際親善交流センター（上田卓三会長）が 1981 年から始めた「ナホトカ青年の船」は、ソ連客船をチャーターし

て福井県敦賀港から出航、ソ連沿海地方ナホトカで青年交流を行い、行き帰りの船の上でも「洋上大学」としてロシア語学習会や講演会、映画会、ディスコ大会などを行う、当時としては格安の若者向けソ連旅行だった。すべて船中泊で行先はロシアの片田舎のナホトカだけ（全行程 6 日間／ナホトカ滞在 2 日間）というシンプルきわまりない船旅だったが、それでも乗船した瞬間からソ連・ロシア独特の空気を感じ、現地ではコムソモール沿海州委員会が、コンサートやスポーツ大会、工場や病院・学校見学などを組織して歓迎してくれたので、参加者の満足度の高い人気の交流ツアーだった。1980 年代前半、「ソ連脅威論」が吹き荒れ「第二の冷戦」と言われる厳しい時代に、「こんな時こそソ連を知らなければならぬ」と日ソ交流を開始した JIC にとって、「ナホトカ青年の船」は創成期の柱となる重要なイベントだった。

次に藤本先生にお会いしたのは 87 年の春。ゴルバチョフ改革（ペレストロイカ）が世界の注目を集め、ソ連は目に見えて変わり始めたと感じられるようになっていた。改革派知識人が集まるズナーニエ（ソ連知識協会）と協力して、「ペレストロイカ・セミナー」を日本とソ連で毎年交互に開催しようというアイデアを実行に移すために、議論のテーマや日ソ双方の参加者の人選など、藤本先生に多くのアドバイスをいただいた。JIC が 87 年から 91 年まで毎年開催したペレストロイカにまつわるセミナーやシンポジウムは、日ソ・日ロ関係者に大きな刺激を与える学術交流の先駆けとなったが、これは藤本先生の全面的な協力なしには実現しえなかったことだった。藤本先生のように学者でありながら実務能力にも長けた人は珍しく、また実務担当者の苦勞がよく分かる人だったので、「一緒に仕事をして、こんなにやりやすい人はそういない」という強い印象をもったものだ。

その後も、藤本先生には JIC の日ロ交流の様々な場面で、いつも的確で、また人情味にあふれた助言をいただいた。私個人としても、とくに藤本先生が 2003 年に大阪日ロ協会の理事長になられてからは、ことあるごとにお会いして、ロシア情報や関係学会の動きを教えていただき、年の離れた友人として遇していただいたことに、言い知れぬありがたさを感じている。当時の大阪日ロ協会とは、個人的な人間関係のもつれから必ずしも良い関係ではなかったのだが、いつのまにか藤本先生の温顔に融かされて、気がつけば事務局次長、常任理事と深くかかわることになってしまった。これも藤本先生の人徳としか言いようのない温かい人柄によるものであると、今はただ感謝している。

藤本和貴夫先生、安らかに眠りください。

伏田 昌義

国際親善交流センター副会長

ジェーアイシー旅行センター取締役